



表紙写真は、令和5年度農林漁業優秀経営者選定事業表彰において農林水産大臣賞に選ばれた枝澤寛治さん(69)です。撮影時(7月20日)はハウスレンコンの収穫作業に汗を流していました。次々にレンコンを掘り出していき、船はあっという間にすっかり肥大した白のレンコンでいっぱいになりました。掘り出してみないと状態が分からない土の下のレンコンは、「推測」によって収穫まで管理していかなければなりません。何より経験が頼りの綱となります。「作物に寄り添った」栽培管理を徹底し、何より基本に忠実に取り組み、自分の目を頼りに、結果の検証を怠らず、次の作に活かす。その繰り返しの繰り返しの技術を培ってきました。

枝澤さんは、「大相撲の世界では『四肢と鉄砲で十両まで』と言われるが、まさにその精神でやってきました。時間をかけて染み込んだものには、ぶれが少ない。自分には「夜にして文獻で仕入れた情報を取り入れてやってみよう」と思っています。逆に不器用さがかえって長所にもなると今では思える」と話します。

また、枝澤さんは、就農当初からレンコンと甘藷の複合栽培を行っています。6月〜7月中のハウスレンコンの収穫と甘藷の管理作業が重なる時期は多忙を極めます。全品目、技術が必要な栽培管理は枝澤さんが中心に行い、出荷調整作業は家族・知人の

方々が分担しています。自身で管理の目的が「届く」身の丈に合った栽培を心掛けていくこと。レンコンにおいては管内で深刻化する腐敗症の被害を最小限に食い止めています。枝澤さんは、「しんどいときもあるが、人に恵まれていたからこそまよってこられた。家族・知人の方々や消費者がいてくれるからこそ頑張れた。向上心を持って仕事をやる姿勢があれば、自然に周囲にも良い循環が生まれる」と話します。

枝澤さんの掘り起した大きくどっしりしたレンコンからは、消費者の方々へ少しでも良いものを届けたいというポリシーが伝わってくるように見えます。



農機展示商談会 物流フェアを開催

7月14・15日の2日間にわたり農機展示商談会物流フェアを北部宮農経済センターで開催し、約450名の方々にご来場いただきました。



会場には、トラクター18台・コンバイン5台・田植え機5台がずらりと並び、来場者は圧倒させており、来場者は試乗するなどして、熱心に担当者から話を聞いていました。

JAでんき相談ブース他、草刈り機・プロワー・農業・農具・背負い式噴霧機等の展示販売が行われ、好評でした。さらに、衣類・日用品・寝具・健康器具等、消費者ニーズに合った生活関連商品を集め、来場者は手に取って製品を見定めています。

北部宮農経済センター吉田総センター長は、「久しぶりに大規模なイベントが開催できた。これを機にイベントが増え、さらに活気が溢れると嬉しい。」と話しました。

▲写真は、開会式でテーブルカットを行う、(左から)岩井常務、全農とくしま県本部 大川部長、松田組合長、伊勢専務、小松常勤 監事。



お盆の需要期に向け 菊園場巡回



菊部会の生産者は7月21日に圃場巡回を行い、今後の出荷に向け、栽培管理などの確認を行いました。現在、主に栽培されている品種は「精州」(せいしゅう)、「精菱」(せいびし)、「金扇立花」(きんせんりっか)、「精の一世」(せいのいつせい)などです。情勢報告では、九州の豪雨災害の影響により、お盆の最需要期に品薄が予測されることが報告されました。

今後、高温障害の対策として灌水・換気をしっかり行い、消毒作業を重点的に行うように注意喚起がありました。

生産者の麻植孝浩さんは「猛暑によって菊生産にとっても過酷な状況下ではあるが、先人も知恵を振り絞り、乗り越えてきたのだと思う。心に余裕を持って生産に励み、菊を手にとって下さる方の満足に応えたい。」と話しました。

グリーンハウスみかん目慣らし会

7月23日よりグリーンハウスみかんの出荷が始まりました。初日の出荷量は1.5トでした。生産するのはハウスみかん部会の5軒。今年は9月中旬頃までに28.5トの出荷を計画しています。

7月25日には、中央集出荷場で目慣らし会が開催され、生産者の他、果樹指導員、販売担当者らが参加しました。

現在、栽培されている品種は従来ハウスミカンとして生産されていたものです。収穫前には、果樹指導員が各圃場で糖度・酸の測定を行います。

今年度も生育は順調に進んでおり、品質良好。ハウスみかん部会の多田稔部会長は、「程よい酸味が爽やかで冷やして食べるのがおすすめ。猛暑の中、一生懸命に収穫したので、是非たくさんの方に手に取っていただければ嬉しい。」と話しました。



オクラ目慣らし会

多家良・勝占・眉山・佐那河内地区のオクラ生産者は、7月26日、中央集出荷場で生産者を対象にオクラの目慣らし会を開催しました。今後の品質の維持に向け、灌水と10日ごとの追肥の徹底を周知しました。現在、雨がやや少ないものの、出荷数量・品質ともに平年並みで順調です。

今年は、生産者約41軒で、総出荷数45万9,500袋(1袋70g)、総出荷量32.2ト、販売金額は2,780万円を目指しています。

同部会では、オクラの品質を保つため、袋詰めにした後、通気性の良い専用の「オクラ籠」で出荷しています。出荷は10月下旬まで続きます。

多家良支所オクラ部会 山下和夫部会長は「これから高温障害により、実が固くなるなどの影響が出やすい時期。管理を徹底し、高品質なものを消費者に届けたい。」と話しています。



切り花葉ばたん講習会

7月14日、中央集出荷場で、切り花葉ばたんの栽培講習会が開催され、生産者5名が参加しました。花卉担当の高木和彦指導員が、品質向上や窒素成土壌分析結果に基づいた施肥方法や、健苗生産に向けた

播種方法および発芽後の育苗方法について周知しました。

また、密植栽培と葉かきによって茎を細く伸ばすことや、根はりをコンパクトにすることを心掛けることにより、気温が下がったときに、肥料を切りやすくすることが着色を良くし、色戻りを防ぐポイントだと説明しました。

さらに、各品種の着色が始まる気温の傾向と、過去3年間の徳島市の最高気温と最低気温の推移を照らし合わせ、着色適温期の予測を提示しました。

葉ばたん部会 宮本正行部長は「こまめな管理に努め、全量出荷を目指したい。」と話しています。



「50円虫!？」ゴマダラカミキリ虫 駆除事業

佐那河内果樹選果場で7月25日、佐那河内農業指導班会が主催するゴマダラカミキリ虫の駆除事業の買い取り受付が実施されました。

これは、生産者や村民を対象に、果樹に被害を及ぼすゴマダラカミキリ虫を村内で捕獲し、持参すると駆除費として1匹50円が支払われるものです。ゴマダラカミキリ虫は、スダチやミカンの木に産卵し、成虫が木を食害することにより、木が衰弱し、枯死する被害もあります。産卵期に成虫を駆除することにより、被害を防ぐことを目的に毎年、駆除事業を行っています。

今年度は延べ82人が訪れ、3,596匹が駆除できました。最も多くの持参者は、215匹を捕獲しました。今年と昨年は、1年間の平均7000匹と比較し、非常に少ない傾向でした。要因としては、冬場の低温により成虫になる前に死んだことなどが考えられています。

村内の小学生の中には、毎年6月初旬から登下校時にゴマダラカミキリ虫を捕獲し、夏休みのお小遣いにする児童もたくさんおり、児童らには「50円虫（ゴジュエンムシ）」という呼び名に馴染みがあるほどです。

佐那河内農業指導班会班長を務める果樹選果場の井上和行課長は「村をあげて活動することで、子どもたちにも村の特産物を守っていく意識を持ってもらう機会になれば嬉しい。」と話しています。



青壮年部役員改選

令和5・6年度役員

部長	簗手 達矢	南井上
副部長	林 孝行	八万
副部長	坂東 明文	国府
会計	高橋 恭一	加茂名
監事	高曽根 督也	多家良
参与	加藤 正憲	渭 東



▲簗手部長

花卉役員改選

令和5・6年度役員

会長	立石 光昭
副会長	赤坂 伸一
副会長	麻植 孝浩
副会長	近藤 洋右
監事	長尾 佳昭
監事	天岡 美教



佐那河内、嵯峨年金友の会が合同で観劇鑑賞会を開催

6月23日、佐那河内村民体育館で佐那河内、嵯峨年金友の会が合同で、大衆演劇劇団「神楽」を招き、観劇鑑賞会を行い、会員約100名が参加しました。

「神楽」の舞台は観劇「高町の朝」と、舞踊ショー「春夏秋冬華舞踊絵巻」の2部制となっており、幕間には、佐那河内年金友の会森脇昌之会長が「涙の連絡船」の歌唱を披露しました。参加者からは、「また次回も開催を期待しています。」との声もあり、舞台は大盛況のうちに幕を下ろしました。



豊作祈願! 黄金色のアマガエル いちごの苗床で発見

7月6日、佐那河内ももいちご部会の栗坂政史部会長(49)のいちごの苗床で、黄金色のアマガエルが発見されました。体長約2センチ。少し赤みをおびた黄色の様な色味で、活発に動きまわっています。栗坂部会長は、7月5日に新潟県佐渡島で発見された金色のカエルのニュースを観て、「自分の圃場にも同じようなカエルが居たらラッキーだ」と思いながら、作業をしていたら本当に居た!と様子を教えてくださいました。

栗坂さんは、珍しいカエルなのでたくさんの人に観てもらえたらと、佐那河内果樹選果場の事務所にアマガエルを持ち込み展示し、「縁起の良い色。収穫時の稲穂の色なので、豊作の祈願になれば。」と笑顔で話しています。



農業者年金についてのパンフレットを各支所・事務所窓口に設置しています。

ご興味のある方は、ご自由にお持ち帰りください。



「さくらももいちご」を使用したジャムが発売されました

数量限定販売(1,000本)となっております。是非、ご賞味ください。直売所、ミニ資材店舗で販売しています。お問い合わせは農産工場まで。(TEL: 088-679-2411)



健康 百科

「骨髄異形性症候群について」

徳島往診クリニック 吉田大介

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。当院ではご自宅での輸血を積極的に
行っており、血液疾患のうち約半数を占める疾患が「骨髄異形性症候群」です。

骨髄異形性症候群 (MDS: myelodysplastic syndromes) は、高齢者の疾患で40歳以下ではほとんどみられません。患者年齢中央値は76歳、人口10万当たりの有病率は約3人で、男女比はおよそ2:1とされています。MDSでは、骨髄にある造血幹細胞(すべての血球=赤血球、白血球、血小板の元になる細胞)に異常が生じるために骨髄が血球をうまく作れなくなります。そのため、血液検査では赤血球、白血球、血小板の内1-3種類の減少が認められます。白血球が減少することにより免疫力が低下して感染症に罹りやすくなりますし、赤血球が減少すれば貧血症状(倦怠感、動悸、息切れ、めまい)が生じます。血小板が大幅に減少すると出血傾向(鼻出血・血尿・皮下出血・脳出血など)を生じることがあります。元の細胞が傷害されていますので、一人前の細胞になる途中で血液細胞が壊れてしまう「無効造血」や、造られた血液細胞の形が異常になる「異形成」といった特徴が認められます。また一部の患者さんは急性骨髄性白血病に進行することから、前白血病状態と呼ばれることがあります。患者さんごとに経過は様々で、1年未満の生存しが望めない方から数年の経過を呈する方までいらっしゃいます。MDSは、造血不全という面とがんの一種である面を持っていて、白血病と似た遺伝子異常がある事も判っています。MDSは、骨髄中の芽球の割合や異常な血液細胞の種類に応じて分類されますが、現在は2008年版のWHO分類が使われています。MDSの予後に大きな影響を与える因子をスコアリングして、その合計点数でリスク分類をすることにより予後予測をすることができます。代表的なものとしてIPSS (International Prognostic Scoring System: 国際予後判定システム) とIPSS-R (Revised IPSS: 改定IPSS) があります。IPSS-Rの予後因子は5つあり、次の様なものです。1. 染色体異常の程度 2. 骨髄中の芽球の割合 3. ヘモグロビンの値 4. 血小板数 5. 好中球の数 これらの合計点数で5段階に分けられます。*この場合の「予後」とはMDSの進行および急性骨髄性白血病への移行リスクといった今後の経過を意味します。

MDSの治療法は大きく次の3つに分けられます。

1. 造血幹細胞移植: MDSの治療が期待できる唯一の治療法です。

強力な化学療法や全身への放射線照射を行い、自分の中の悪くなった造血幹細胞などの血液細胞を破壊した後、正常な造血幹細胞を移植して、造血機能を回復させる治療法です。

2. 化学療法: 抗がん剤による治療です。芽球(未熟で異常な細胞)が多い場合に、芽球を減らすことを目的に行います。

3. 支持療法: MDSによる症状や、治療に伴う副作用を軽減するための治療や、造血幹細胞移植や化学療法が無効な場合の治療を指します。具体的には、貧血症改善のための赤血球輸血やエリスロポイエチン療法・出血症状改善のための血小板輸血・感染予防のため、白血球を増やす薬剤や抗菌剤を予防的に投与します。

島田清弁護士無料法律相談

日時 第3土曜日 9:00~12:00
金融共済部へ事前に予約が必要
申込先 ☎088-622-8003
場所 本所1階金融相談室

賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

日時 9月12日(火)、19日(火)、26日(火)
9:30~15:00
申込先 総務部へ事前に予約が必要
☎088-622-6335
場所 本所1階金融相談室

理事会だより(令和5年7月25日)

協議事項

- ディスクロージャー誌の開示について【可決】
- 令和5年度 第2期育苗施設工事並びに育苗事業強化に係る資金計画の変更について【可決】
- 北部営農経済センター 太陽光発電設備に係る取得計画の一部変更について【可決】
- コンプライアンス・マニュアルの一部改正について【可決】
- 出資口数の一部減割について【可決】

報告事項

- みのり監査法人による令和4年度監査結果概要報告書について
- 第1四半期の余裕金運用状況報告について
- 第2四半期の余裕金運用方針について
- 債権回収について
- 事務リスク管理規程に基づく事務ミス等の発生状況・自主検査の結果および改善状況について
- 苦情等の受付対応実績報告について
- 反社会的勢力との取引排除および疑わしい取引の届出等組織犯罪等の防止にかかる対応状況について
- JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」について
- 理事会決議事項処理状況報告
- 前回金融共済委員会および営農経済委員会の協議内容について

NEPON

グレー色の ハウスカオンキ をお使いの方へ



HK-20・22型 及び 15・17型の 部品供給終了についてのお知らせ

弊社製品をご愛用いただき、誠にありがとうございます。
HK-20・22型及び15・17型(一部地域取扱品)は生産終了後
2.5年以上経過し、部品の調達が困難になっています。
そのため在庫がなく次期部品供給を終了させていただきます。
施設作物の栽培管理の一環として、現在ご使用中の
製品の入替えのご検討をお願いいたします。

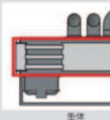


ご注意ください!

HKコントローラ
(HKC-253)が
生産終了となります。
後継品のHKC-300は
20・22型(15・17型)には
使用できません!!



これらの主要部品はすでに在庫終了し、
部品供給は終了しました。



製品の色、型式をご確認ください

該当機種			
20型	22型	15型	17型
1520	1522	1515	
2020	2022	2015	
3020	3022	3015	3017
4020	4022	4015	4017
5020	5022	5015	5017
6020	6022	6015	6017
8020	8022		



型式は銘板でご確認ください。

購買事業の適格請求書等保存方式 (インボイス制度)対応について

令和5年10月1日から導入されますインボイス制度につきまして、JA徳島市およびジェイエイ徳島市燃料サービス株式会社における対応につきましては下記の通りとなります。

発行するインボイス

商品販売の際にお渡しする「納品書」がインボイスとなります。尚、インボイス制度ではインボイスに記載すべき消費税額等の計算方法が定められておりますので、現行の納品書右側に記載されている明細毎の「内消費税額」が非表示になり、合計欄の「内消費税額」のみが表示されることとなります。※一部例外有り

例外1(通常の納品書以外がインボイスとなる場合)

- ガス事業 ガス料金請求明細書がインボイスとなります。
- 石油事業 給油した際のレシートがインボイスとなります。
- でんき事業 ポータルサイトからインボイスを出力可能です。
- 農機事業 農機一体化システムからの納品書がインボイスとなります。

例外2(納品書の再発行により対応する場合)

- 戸配送サービス 配送伝票の配達日が納品日と合致しないためインボイス対応不可となります。インボイスが必要な方については納品書を再発行して対応します。
- 納品書を発行できていない取引(灯油の配達、メーカー直送の飼料など) インボイスが必要な方については納品書を再発行して対応します。

インボイスが必要な方へ

インボイスが必要な方は消費税の確定申告で本則課税を選択している方のみとなります。例外2があるためインボイスが不足する可能性がございますので、必要な方には月次単位でインボイスを再発行しお渡しいたします。必要な方におかれましては、お手数ですが最寄りの営農経済センターまでお申しつけ下さい。

ご不明な点等ございましたら最寄りの営農経済センターもしくは営農経済部、燃料サービス本店までお問合せ下さい。